

水戸ファンドラップ

四半期通信

～ 運用担当者からのお知らせ ～

作成基準日：2025年12月31日

【目次】

	ページ
1. 運用コース別・設定来価額推移グラフ	2
2. 資産別パフォーマンス	2
3. 資産別投資環境見通し	
国内株式、先進国株式	3
新興国株式、世界の債券	4
ワールドリート、コモディティ	5
ドル・円	6
4. 主要国の金融政策	6
5. 水戸ファンドラップの情報発信	7

<ご案内>

■本資料は、運用担当者が作成し、四半期ごとに水戸ファンドラップのお客さま向けにお届けする情報提供資料です。

■水戸ファンドラップの情報発信として今回は、『動画コンテンツ「相続時受取人指定サービスのご案内」公開のお知らせ』を掲載いたしました。詳しくは本資料7ページをご覧ください。

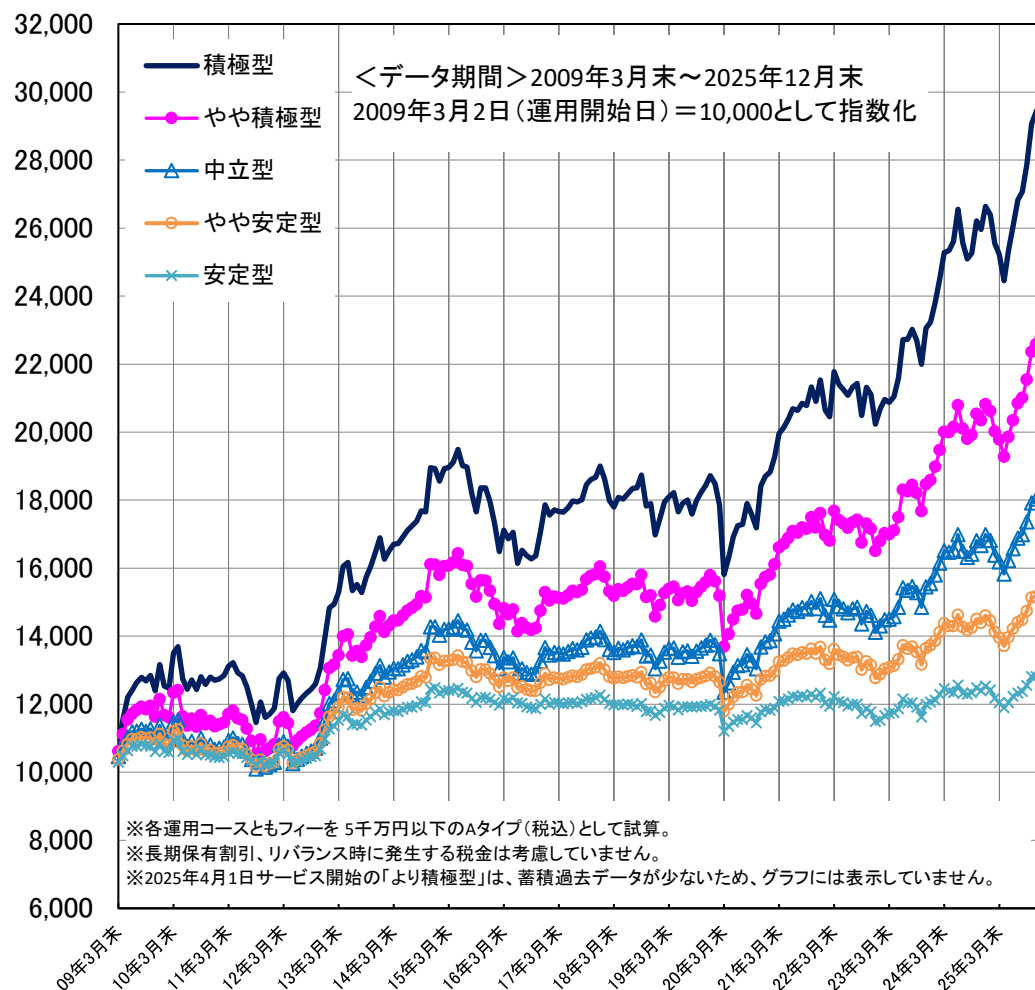
水戸証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号

加入協会 日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

1. 運用コース別・設定来価額推移グラフ<月足>



<試算値> (「より積極型」はサービス開始日の2025年4月1日=10,000)

	より積極型	積極型	やや積極型	中立型	やや安定型	安定型
25年9月末	11,347	27,862	21,548	17,362	14,742	12,554
25年10月末	11,911	29,063	22,365	17,919	15,129	12,817
25年11月末	12,042	29,414	22,577	18,032	15,173	12,819
25年12月末	12,217	29,705	22,746	18,121	15,208	12,815

<騰落率>

25年10月	+4.97%	+4.31%	+3.79%	+3.21%	+2.63%	+2.09%
25年11月	+1.10%	+1.21%	+0.95%	+0.63%	+0.29%	+0.02%
25年12月	+1.45%	+0.99%	+0.75%	+0.49%	+0.23%	▲0.03%

2. 資産別パフォーマンス<円換算>

	25年1-3月	25年4-6月	25年7-9月	25年10-12月	平均
国内株式	▲3.7%	+7.9%	+10.9%	+9.2%	+6.1%
国内債券	▲2.4%	▲0.2%	▲1.5%	▲2.3%	▲1.6%
先進国株式	▲7.2%	+8.1%	+10.3%	+8.5%	+4.9%
先進国債券	▲2.7%	+1.5%	+3.4%	+6.0%	+2.1%
新興国株式	▲2.8%	+6.6%	+14.7%	+9.3%	+7.0%
新興国債券	▲3.3%	▲0.7%	+6.3%	+7.7%	+2.5%
ワールドリート	▲2.9%	▲0.8%	+5.2%	+2.9%	+1.1%
コモディティ	+2.9%	▲6.1%	+6.6%	+11.3%	+3.7%
ドル・円	▲5.5%	▲3.2%	+2.8%	+5.2%	▲0.2%

・資産別パフォーマンスの計算は下記のデータを使用

※資産別パフォーマンス<円換算>は、毎四半期末を基準とした期間3カ月の騰落率。

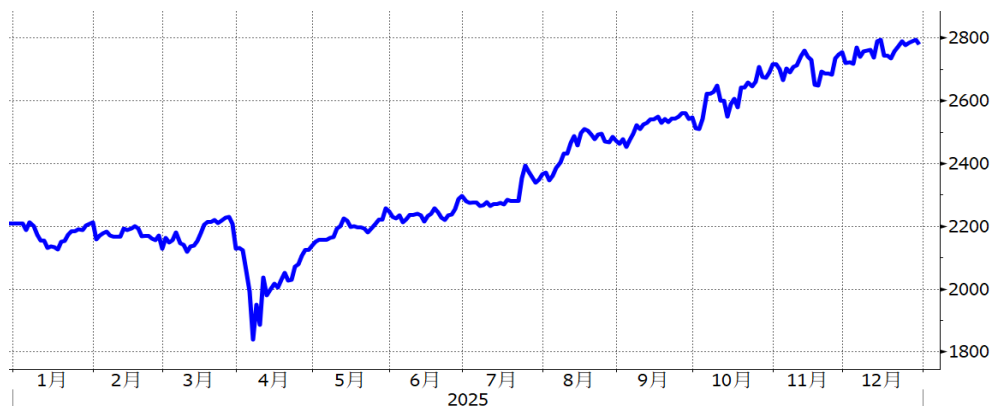
※【国内株式】～【コモディティ】の8資産は、Bloombergが算出する代表的な指数を使用。3～5ページも同様。

※【ドル・円】は、三菱UFJ銀行が算出する公表仲値(TTM)。6ページも同様。

(出所) Bloomberg、QUICKより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

国内株式

高市政権の財政政策や
解散総選挙の有無に注目

<10-12月レビュー>

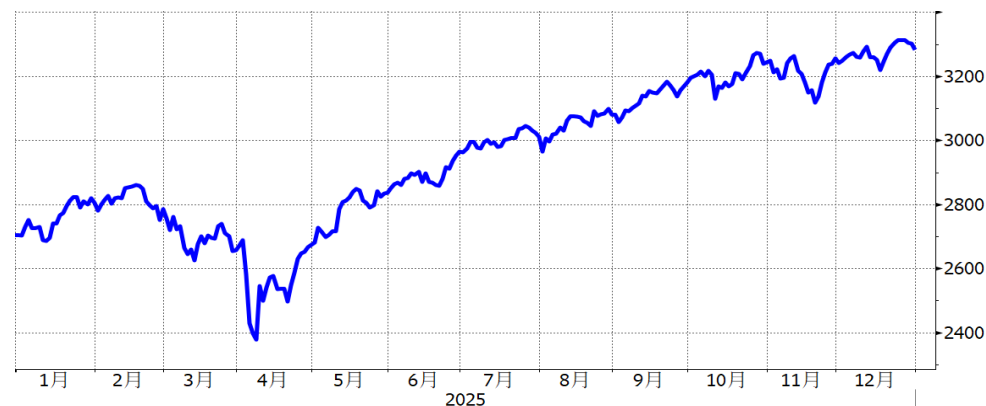
■国内株式相場は、概ね堅調に推移しました。10月上旬の自民党総裁選において、積極財政を掲げる高市氏が新総裁に選出されたこと等から、大きく上昇しました。その後は、公明党の連立離脱や日中関係悪化、国内金利の急上昇といった波乱材料もありましたが、高市政権の積極的な財政政策への期待は途切れず、上昇基調が継続しました。

<1-3月の見通し>

■国内株式相場は、高市政権の積極的な財政政策等を背景に、底堅い展開を想定します。今後は政策の具体化が追い風になると考えます。また、高い内閣支持率を活かした解散総選挙の可能性が、一部で取り沙汰されています。選挙は株高になりやすいという経験則があることから、要注目です。

■その他の注目要因として、日米の金融政策動向が挙げられます。日本は2026年中の追加利上げが見込まれており、相場の警戒要因となる可能性がある一方、米国は追加利下げが予想されており、支援材料として期待されます。

先進国株式

次期FRB議長人事や
米政権支持率に注目

<10-12月レビュー>

■先進国株式相場は、米中貿易摩擦や米政府機関閉鎖を巡る思惑等に振られる中、AI(人工知能)関連銘柄の割高感や過剰投資への警戒感等から、11月中旬にかけ下落しました。その後は、AI(人工知能)関連銘柄への過度な懸念が後退したことや、米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げへの期待等から、反発しました。

<1-3月の見通し>

■米国株は、米連邦準備制度理事会(FRB)の次期議長にハト派的な人物が選任されるとの観測や、AI(人工知能)関連銘柄への根強い期待、ハイテク企業を中心とした好調な企業業績等が下支えとなり、堅調な推移を予想します。また、11月に予定されている米中間選挙に向けて、低下した支持率を回復すべく米トランプ政権が新たな政策を打ち出すか、注目されます。

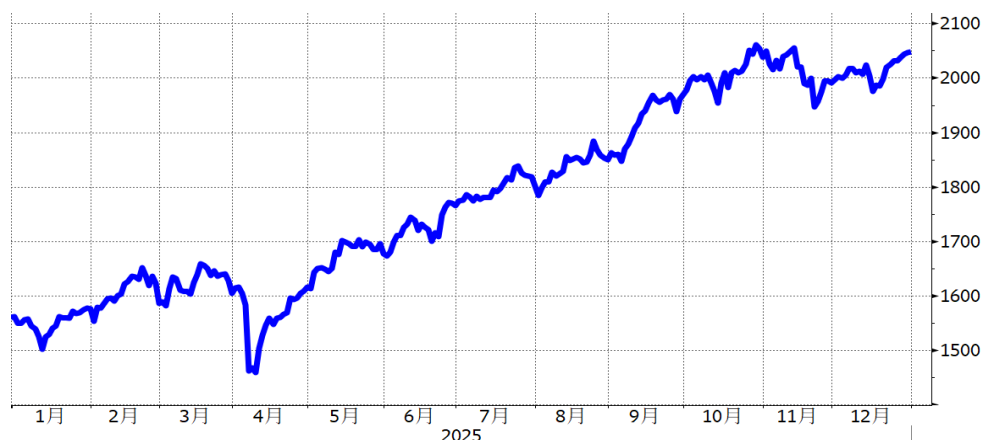
■欧州株は、欧州中央銀行(ECB)による利上げが行われる可能性等が重しとなる一方、防衛費を中心とした財政支出拡大等を背景とした景気回復期待等が下支えとなり、緩やかな上昇を想定します。

チャートのデータ期間: 2024年12月末~2025年12月末 (出所) Bloombergより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

新興国株式

中国当局による景気刺激策や
米中通商協議の行方に注目



<10-12月レビュー>

■新興国株式相場は、10月下旬に米中首脳会談の開催が伝わったことで、市場の米中関係改善への期待が高まり、買いが優勢となりました。その後、米ハイテク株の動向に振らされ、大きく下落する場面もありましたが、中国当局による景気刺激策への期待や、米半導体大手企業の好調な需要予測を背景とした、アジア半導体株の上昇が相場をけん引しました。

<1-3月の見通し>

■中国株は、米トランプ政権との通商協議や中国当局による景気刺激策等の政治的要因に左右されやすいと思われることから、揉み合いの推移を予想します。

■その他の国では、堅調な半導体需要を背景に、半導体関連銘柄を中心とした韓国・台湾への買いや、インフレ率低下や堅調な景気等を好感したインドへの買いが集まりやすいと考えます。ただし、足元のAI(人工知能)投資の過熱感を受けた、利益確定の売りが進みやすい点には、留意が必要と思われます。

世界の債券

米利下げ観測を背景に
堅調推移を想定



<10-12月レビュー>

■先進国債券相場は、米政府機関閉鎖の影響により重要指標の公表が遅延する中、揉み合う展開が続きましたが、12月発表の米物価統計が軟調だったこと等が支援材料となりました。

■新興国債券相場は、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ観測等を背景に11月末からドル安が進んだこと等から、資金が流入しました。

<1-3月の見通し>

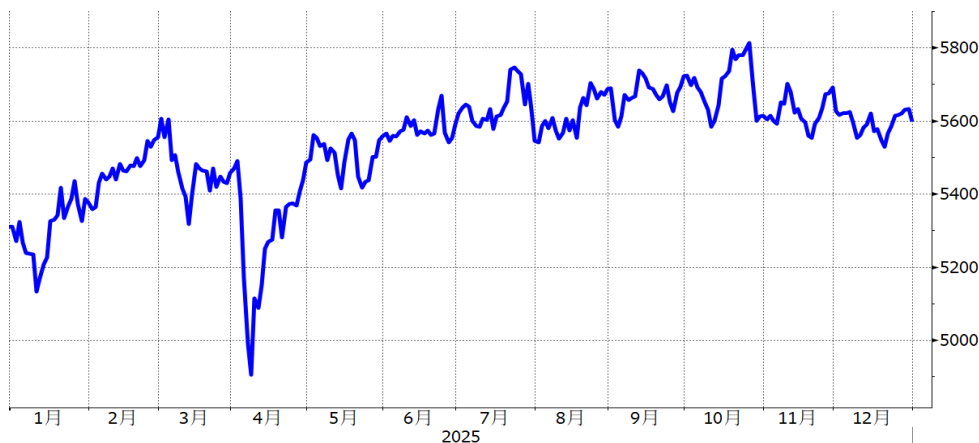
■先進国債券相場は、米連邦準備制度理事会(FRB)の新議長候補者が利下げに前向きであり、新議長の就任を機に、ハト派へと再傾斜するとみられることから、米経済指標や米労働統計の動向に振らされつつも、堅調な推移を予想します。

■新興国債券相場は、米利下げ観測の高まりによるドル安圧力を背景とした、新興国市場への資金流入が起きやすいことや、新興国のインフレ率の低下を通じた利下げサイクルの活発化によって、堅調な推移となると予想します。

チャートのデータ期間: 2024年12月末~2025年12月末 (出所) Bloombergより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

ワールドリート

米利下げペースや
財政悪化懸念に留意

<10-12月レビュー>

■ワールドリート相場は、弱含む展開となりました。10月は米中対立懸念が和らいだこと等を背景に上昇する場面もありましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が追加利下げに慎重な姿勢を示したこと等から、下落しました。その後は、米利下げを巡る思惑に振られつつ、軟調な米雇用指標を受けた景気懸念等から、弱含みました。

<1-3月の見通し>

■ワールドリート相場は、上値の重い推移を予想します。直近3回の米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.25%ずつの利下げが実施されたものの、株式相場に対する出遅れが続いていること等から、現状の金利環境下ではリートへの資金流入は生じ難いと思われます。また、米財政悪化懸念を背景とした長期金利の下げ渋りが想定されることも、重しになると考えます。

■Jリートは、底堅い推移を予想します。国内金利が上昇していること等は重しとなる一方、東京都区5区の空室率低下や賃料上昇、バリュエーション面での割安感等が下支えになると考えます。

コモディティ

世界各地で高まる
地政学リスクには要警戒

<10-12月レビュー>

■コモディティ相場は、米利下げへの期待や、地政学リスクの高まり等を背景に、金を中心とした貴金属価格が上昇したこと等で、堅調に推移しました。

■原油相場は、OPECプラス(石油輸出国機構と非加盟産油国)による増産や、ロシアとウクライナ間の和平交渉が進展しているとの見方等が重しとなり、軟調推移となりました。

<1-3月の見通し>

■コモディティ相場は、米国とベネズエラ、ウクライナや中東等、世界各地で地政学リスクがくすぶっていること等から、値動きの荒い展開を予想します。

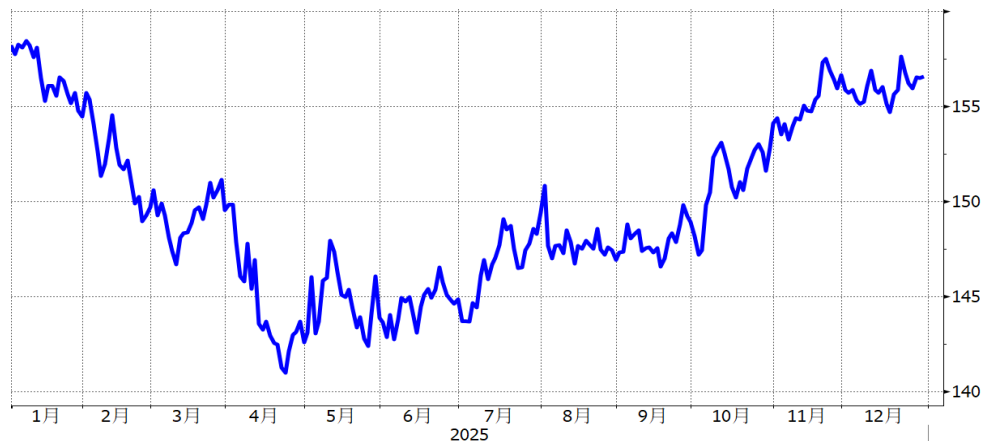
■原油相場は、米国やサウジアラビア等の主要産油国による増産傾向等を背景に、2026年の供給過剰が各機関で予想されていること等から、引き続き上値の重い推移を予想します。金は、米ドル離れの代替先と考えられることや、世界各地での地政学リスクの高まり等から、堅調推移を予想します。産業用メタル(銅やアルミ)は、データセンター建設等の需要に加え、主要鉱山で供給障害が生じていること等から、堅調な推移を予想します。

チャートのデータ期間: 2024年12月末~2025年12月末 (出所) Bloombergより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

ドル・円

日本の財政政策や
為替介入の有無に注目



<10-12月レビュー>

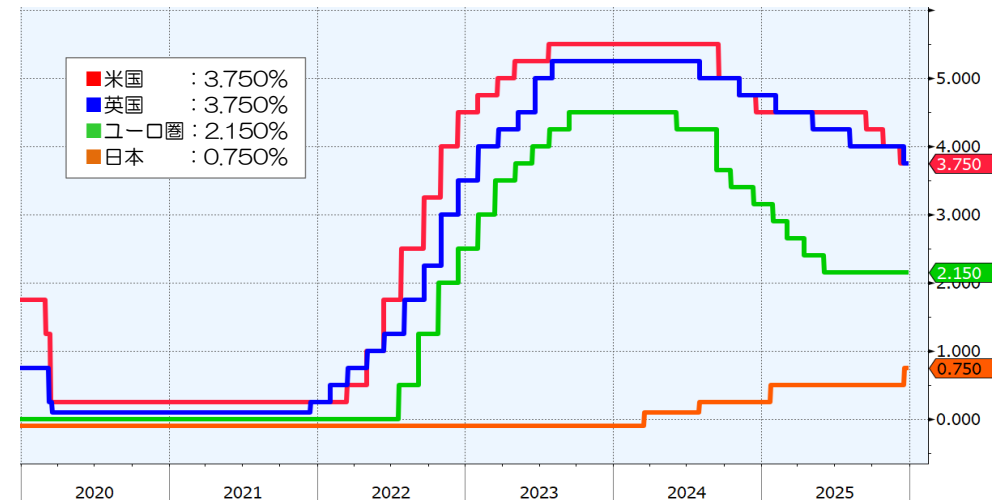
■ドル・円相場は、米国の利下げや日銀の利上げに対する思惑、米中関係の動向等に左右されながらも、米政府機関閉鎖の解除期待や日本の財政悪化への懸念等を背景に、11月中旬にかけて大きくドル高・円安が進みました。その後は、政府・日銀による為替介入への警戒感が強まったこと等から、上値の重い展開となりました。

<1-3月の見通し>

■ドル・円相場は、1ドル=150円台後半を中心に揉み合いながら、方向感を探る展開を予想します。日米の金融政策の違いは、金利差縮小を通じて円高要因になるとみられますが、2026年の米国の利下げや日銀の利上げはすでに一定程度織り込まれており、相場への影響は限定的と考えます。
■その他の要因としては、日本の財政悪化に対する懸念が円安要因となる一方、円安が進行すれば政府・日銀による為替介入への警戒感が強まり、円安の余地は限定的になると考えます。為替介入が実施された場合には、相場が急変動する可能性があり、注意が必要です。

チャートのデータ期間: 2024年12月末~2025年12月末 (主要国の金融政策のみ2019年12月末~2025年12月末) (出所) Bloombergより水戸証券作成
8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

4. 主要国の金融政策



※米国:FF目標金利(上限値)、英国:ボラソルト、ユーロ圏:リファイクス金利、日本:無担保コールレート翌日物

<主要国の政策金利動向>

■米国は、3会合連続で政策金利を引き下げました。労働市場と物価情勢を見極めるため、利下げを一時停止する可能性を示唆しました。一方で、合わせて公表された参加者の政策金利見通しでは、2026年に1回の利下げ予想が示されました。
■ユーロ圏は、4会合連続で政策金利を据え置きました。「特に内需のけん引により、経済成長は力強くなる」との見方を示し、同時に発表した景気予測では、成長率とインフレ率の見通しを上方修正しました。
■英国は、政策金利を引き下げました。僅差での決定となり、今後の利下げには慎重な姿勢を示しました。
■日本は、政策金利を引き上げました。政策金利は30年ぶりの高水準となりましたが、実質金利は「極めて低い水準にある」とし、利上げによる政策正常化路線の継続を示唆しました。

5. 水戸ファンドラップの情報発信


★ 動画コンテンツ「相続時受取人指定サービスのご案内」公開のお知らせ

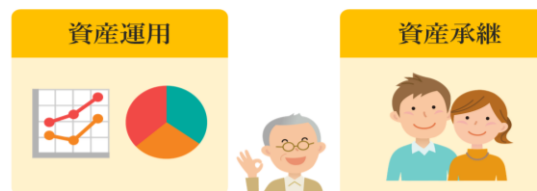
◆弊社ではこの度、「相続時受取人指定サービス」の解説動画コンテンツを、水戸ファンドラップお客さま専用ページにて公開いたしました。

【ご利用方法】


- 水戸証券ホームページ(URL: <https://www.mito.co.jp/>) → 「商品案内」
- 「水戸ファンドラップ」 → お客さま専用ページ「ログイン」ボタン
- 「ユーザー名・パスワード」入力 → 「お客さま専用ページ」 → 特約・付帯サービス解説動画



 「相続時受取人指定サービス」なら
運用を続けながら、万が一に備えることができます!



両方のニーズに応えることが可能!

 「相続時受取人指定サービス」なら
簡単な手続きでご資金を受け取ることができます

最短約1か月



- ユーザー名・パスワード

ユーザー名	0310
パスワード	0310

「水戸ファンドラップ」のリスクおよび手数料について

【リスクについて】

- ・「水戸ファンドラップ」は、投資一任契約に基づき有価証券等に投資する取引です。運用成績は、投資一任契約に基づき運用される有価証券等の価格変動に応じて変化します。
- ・「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託は、主に株式および債券等値動きのある証券(外貨建て証券は為替リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特にエマージング市場等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えることがあります。したがって、投資元本が保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、運用における損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。
- ・資料に示された過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

【手数料について】

- ・「水戸ファンドラップ」は、運用資産残高に応じて、定期的に報酬(手数料)をご負担いただきます。報酬の体系には、「Aタイプ(固定報酬のみ)」と「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」の2つがあり、ご契約の際、お客さまに選択していただきます。
- ・「Aタイプ(固定報酬のみ)」: 残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大2.090%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」: 固定報酬については、残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大1.567%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。成功報酬については、成功報酬評価基準日での収益相当金額に対し11.0%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・上記以外に、「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託の信託報酬として、純資産総額に対し最大で1.7908%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。また、換金時の基準価額に対し最大0.5%を乗じた額の信託財産留保額をご負担していただく場合があります。さらに、運用状況に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要になりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。

※ リスク・手数料についての詳細は、ご契約に際しあらかじめまたは同時にお渡しする「約款・規定集」、「契約締結前交付書面(A)」、「水戸ファンドラップ 契約締結前交付書面」、「水戸ファンドラップ口座約款」、「水戸ファンドラップ投資一任契約約款」、「各投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

水戸証券株式会社

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

- ・当資料は、当社(水戸証券株式会社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。投資にあたりましては、ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性や完全性、将来の運用成績について保証するものではありません。また、内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

